

(1) 活動実績

日程	活動実績	主な内容	参加者及び理事の業務執行状況	
4月	8日	研究会委員長懇談会 (御茶ノ水) emailで実施	2019年度報告／2020年度計画 研究報告会／報告書の準備 研究助成／奨励賞の審査依頼	報告者：研究会委員長6名 報告先：理事長、両副理事長 依頼者：森田選考委員長
	21日	監事会 書類送付し電話で確認	2019年度 事業報告の監査 2019年度 計算書類の監査	谷舘監事、服部監事 事務局長
5月	13日	研究助成成果発表会 オンライン開催 11/16	研究助成成果報告／採択者研究紹介 奨励賞授賞式／成果報告	奨励賞・成果報告者 9名 理事長、両副理事長等 31名
		理事会 書面みなし決議 6/4	2019年度 事業報告・決算報告 評議員会 提案議案の決議	理事：15名全員の同意書 監事：2名全員から異議なし
6月	同日	評議員会 書面みなし決議 6/15	2019年度 事業報告・決算報告 評議員・理事・監事の選任	評議員：13名全員の同意書
		第21回理事会 オンライン開催 6/25	役付き理事の選定 コロナ禍における会合開催方針	理事長、両副理事長、専務理事等13名 服部監事 資料別冊②参照
	末迄	内閣府提出 (WEB)	2019年度 事業報告及び計算書類	6月末届出済
7月		法務局届け出(書面)	評議員・代表理事・理事・監事の登記	7月届出済
	上旬	第27回 研究報告会 中止(研究報告書送付)	2019年度 研究会活動報告 2020年度 研究会活動計画	研究会委員長6名が報告書作成 財団関係者115名に配布
	30日	企画委員会 オンライン	重要事項の検討(理事の担当業務等)	理事長、両副理事長、専務理事等7名
9月	1日	研究助成選考 選考委員会オンライン	2020年度 研究助成採択者の選考 2021年度 奨励賞の選考準備	森田委員長等選考委員 6名全員
	8日	企画委員会 オンライン	重要事項の検討(財団収支等)	理事長、両副理事長、専務理事等7名
	9日	理事会 書面みなし決議	2020年度 研究助成採択者の決定	理事：14名全員の同意書 監事：2名全員から異議なし
10月	23日	伊達理事長退任記念 講演会(仙台＋オンライン)	講演：ナノメッセンジャーはいかが	仙台会場8人＋オンラインで合計50名 理事長、両副理事長 等
11月	28日	第43回 ATI 公開フォーラム オンラインライブ配信	脳波センシングとAI活用 関谷毅教授 新型コロナウイルス疫学 浦島充佳教授	聴講者 110名
12月	12日	企画委員会 (長野)	来年度計画検討、財団収支検討 等	理事長、新庄副理事長、専務理事等6名
1月	15日	理事会 書面みなし決議	財団事務所移転	全理事14名同意、全監事2名異議なし
	21日	評議員会 (同上)	同上	全評議員14名同意
2月	8日	企画委員会 オンライン	来年度計画案作成 等	理事長、両副理事長、専務理事等7名
	19日	奨励賞選考 email	2021年度奨励者推薦者の審査と決定	研究助成選考委員、研究会委員長
3月	17日	第22回 理事会 オンライン開催 3/17	2021年度 事業計画・予算 第10期研究会、財団収支 等	理事長、両副理事長、専務理事等12名 服部監事 資料別冊②参照
	末迄	内閣府提出 (WEB)	2021年度事業計画及び予算	3月末届出済

刊 行 物	4月	ATI NEWS	第28号 2020春	印刷 200部 発行済
	7月	研究報告書	2019年度 活動報告	印刷 150部 発行済
	7月	ATI ハンフレット	2020年度 版	印刷 300部 発行済
	10月	ATI NEWS	第29号 伊達理事長退任記念号	印刷 200部 発行済
	11月	ATI NEWS	第30号 2020秋	印刷 200部 発行済
	2月	公開フォーラム講演録	第43回	印刷 150部 発行済

(2) 研究会活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
界面ナノ科学									15 オンライン			24 オンライン
バイオ単分子												30 オンライン
スピントロニクス											18 オンライン	
ナノカーボン												22 オンライン
水和ナノ構造												4/15 オンライン
ナノメカニクス							1 オンライン					8 オンライン
研究報告会				中止								
国際フォーラム			中止		中止							
合同研究会	予定なし											

<内容>

	研究会 会員数	参加人数				テーマ
		会員	参加率	講師等	参加計	
界面ナノ科学 (柴田直哉)	13	10	77%	4	14	ナノ計測
バイオ単分子 (西野吉則)	15	13	87%	1	14	界面ナノ科学研究会総括 ー未来を語るー
スピントロニクス (齊藤英治)	17	15	88%	10	25	創発スピントロニクス
ナノカーボン (片浦弘道)	15	14	93%	1	15	コロナ禍でも進むナノカーボン研究
水和ナノ構造 (日下勝弘)	15	14	93%	6	20	プロトン・電子移動と生体分子ナノ水和構造
ナノメカニクス (都甲潔)	15	12	80%	5	17	設定しない
		12	80%	6	18	設定しない
合計	90	100	85%	24	124	従来65-70%＝オンラインメリット、会員以外の参加多い 今後はリアルを中心としつつオンラインメリットも出す

研究報告会	研究報告書は7月上旬発行	コロナの為中止
国際フォーラム	2020年国際炭素材料学会議 (Carbon 2020) 6/28-7/3 京都	コロナの為中止
	第29回低温物理学国際会議 8/15-8/22 札幌	コロナの為延期 ⇒2022年度
合同研究会	計画なし	

＜ ATI 研究助成成果発表会 ＞

2020 年度 ATI 研究助成成果発表会が、11 月 16 日にオンラインにて開催されました。遠藤理事長と森田選考委員長の挨拶で始まり、奨励賞授与式と記念講演、2018 年度及び 2019 年度採択者による研究成果報告が行われました。従来よりも多い 40 名が参加し、またパネルディスカッションと交流会の代わりに1時間のフリーディスカッションを設け座長である齋藤副選考委員長のリードもあり、活発な質疑が行われ、コロナ禍にもかかわらず有意義な発表会となりました。



＜遠藤理事長＞

【奨励賞】

「金属クラスターのナノ構造制御に基づく人工光合成モデルの提案」



石田 洋平
北海道大学
大学院工学研究院
助教



【研究助成成果報告】

局在プラズモン共鳴を用いた新奇スピントロニクス機能の開拓	近藤 浩太 研究員	理化学研究所 創発物性科学研究センター
気相共鳴ラマン分光を用いたヘムタンパク質のナノ水和構造の解明	浅見 祐也 助教	学習院大学 理学部
多機能ナノピペットを用いた細胞内局所 RNA 輸送の網羅的解析	周 縁殊 特任助教	金沢大学新学術創成研究機構 ナノ生命科学研究所
細胞内ナノ領域に生じる温度を計測可能な量子センサーの創出	外間 進悟	大阪大学 蛋白質研究所 学術振興会特別研究員
原子分解能電子顕微鏡法に基づいた結晶界面の三次元構造再構築	馮 斌 助教	東京大学 工学系研究科
A.I.支援原子間力顕微鏡を用いたメカノバイオロジーに基づく早期がん診断	王 洪欣 博士研究員	物質・材料研究機構 先端材料解析研究拠点
高垂直磁気異方性磁性体薄膜における超高速スピン軌道トルク磁化反転の観測	飯浜 賢志 助教	東北大学 材料科学高等研究所
アトムハイブリッド法を応用したサブナノ領域科学の開拓	塚本 孝政 助教	東京工業大学 科学技術創成 研究院 化学生命科学研究所



< 公開フォーラム >

第43回公開フォーラムが、11月28日(土)に開催されました。今回はコロナ禍において、新世代研究所の初めての試みとしてオンラインライブ配信でおこなわれ、前回同様に100人を超える方が参加されました。従来のリアル開催では考えられなかった、海外や九州等の方も大勢参加され、今後財団活動をより活発にしていくための有効な手段となることが分りました。

冒頭に遠藤守信理事長より挨拶があり、当財団の目的と活動内容が紹介され、公開フォーラムについても、「社会の話題になっていて知的好奇心が引かれる最新の科学技術を第一線の研究者に分かりやすく説明していただく講演」と紹介がありました。また当財団への支援を30年続けているセイコーインスツル株式会社への感謝を述べられました。



「脳波センシングとAIを活用した医療・ヘルスケア創生」 ～ブレインビッグデータが拓く未来社会～



大阪大学 名誉教授/総長補佐
大阪大学産業科学研究所 教授
工学博士 関谷毅氏



「新型コロナウイルス感染症の疫学」 ～人類と感染症の戦い、過去と今後～



東京慈恵会医科大学
分子疫学研究室 教授
医学博士 浦島充佳氏



コロナ禍において「医療従事者への感謝」が伝えられていますが、それに加えて、医療等の研究者への感謝の気持ちも大切にしたい。昔は大勢の人が感染症などでなすすべもなく亡くなっていたが、今は長年の研究の成果である薬や医療機器などの武器があるので医療現場で戦っている。今日の講演者をはじめ多くの人が明日の為に研究をしてくれていますので、感謝とできる支援をしていきたいと思えます。

また、初めてのオンラインライブ配信にあたり、セイコーグループのセイコーインスツル株式会社の情報システム部に、全面的に協力をしていただきました。厚く御礼を申し上げます。

【講演録】

2月初旬に発行予定。希望者に無料でお送りしますので財団事務局迄ご連絡下さい。